

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：文学国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

教科担当者：（1組：山田）（2組：山田）（3組：山田）（4組：内尾）（5組：内尾）（6組：内尾）（7組：山田）（8組：内尾）

使用教科書：（「精選 文学国語」三省堂）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
小説 「神様」  ・非現実的な設定をもつ物語が、読者を引きこむ力を手に入れるために必要な言葉の工夫について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「くま」に対して「わたし」が抱いた印象の変化を整理する。</li> <li>・「くま」の境遇について「わたし」が感じたことについて考える。</li> <li>・非現実的な設定を持つ物語が読者を引き込む力を手に入れるために、どのような工夫がなされているか、話し合う。</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> ・想像や心情を豊かにする言葉の働きを理解している。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解している。 （ワークシート・ノート・定期考査） <b>【思考・判断・表現】</b> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えている。 ・解釈の多様性について考察している。 （ワークシート・ノート・定期考査） <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・進んで言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ解釈の多様性について考察しようとしている。 （行動観察・学習活動の振り返りシート）	○	○	○	10
1 学 期  小説 「檸檬」  ・文学作品で象徴的な意味を持つ事物の描写に着目して、「私」の心情を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「その頃」の「私」がどのような状態で、どのようなものに心をひかれていたのかを整理する。</li> <li>・「私」にとって「檸檬」はどのようなものか、檸檬の描写に留意して考える。</li> <li>・現在の「私」はどのような思いで過去をかいそうしているかをまとめる。</li> <li>・一人一台端末の利用</li> </ul>	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> ・想像や心情を豊かにする言葉の働きを理解している。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 （ワークシート・ノート・定期考査） <b>【思考・判断・表現】</b> ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える。 ・作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 （ワークシート・ノート・定期考査） <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・進んで言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ解釈の多様性について考察しようとしている。 （行動観察・学習活動の振り返りシート）	○	○	○	14
詩歌 「永訣の朝」  ・詩の表現形式や修辞の効果に着目し、それぞれの詩の理解を深める。 ・表現されている情景や感動の中心を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたくし」の行動と心情の変化を考ええる。</li> <li>・繰り返し表現やローマ字表記等は、詩全体にどのような効果をもたらしているかを説明する。</li> <li>・詩に込められた作者の思いについて話し合う。</li> <li>・一人一台端末の利用</li> </ul>	○	○	○	<b>【知識・技能】</b> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 （ノート・ワークシート・定期考査） <b>【思考・判断・表現】</b> ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 （ノート・ワークシート・定期考査） <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・進んで言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、詩の文体の特徴や効果について考察しようとしている。 （行動の観察・学習活動の振り返りシート）	○	○	○	8

